



おしゃれな人に選ばれる 北欧モダンのオーディオ

北欧ミニマリズムを標榜するSUDIOから、新作イヤホン/ヘッドホンが誕生!
 ミニマルかつファッションブルなカラー展開に加え、どれもSUDIOサウンドを実現した
 コストパフォーマンスの高いアイテムに仕上がっている。早速詳細をみていこう。

文/長谷川真人
 Masato Hasegawa

魅力はデザインだけではない 機能もサウンドも価格以上!

北欧モダニズムが息づく、スウェーデン・ストックホルムで誕生したSUDIO(スーディオ)は、有機的な丸みを帯びたジェンダーフリーを感じさせるデザインで人気を博すブランドだ。サステナブルへの取り組みやニュアンスカラーを取り入れるなどファッショントレンドを先取りしたアイテムが取り揃うのが特長である。ブランドが誕生したのは2012年で、当時からもイヤホンははじめとしたオーディオ機器を開発。エントリーモデルでもクセのないクリアなサウンドを聴かせるコストパフォーマンスの高さも魅力的なブランドだ。

そんなSUDIOが2024年春にラインアップの半数をリファインする。注目は完全ワイヤレスイヤホンだ。ハイブリッド方式のアクティブノイズキャンセリング(ANC)やワイヤレス充電など、機能性もサウンドもワンランク上の「E3」、インナーイヤー型の「A1」に対してカナル型となり、6,900円の価格ながらANC機能を搭載した「A1 Pro」が

ラインアップに加わる。いずれもドライバー口径は10mm。タッチコントロールを採用していたり、接続が安定するBluetooth 5.3に対応していたりと一見すると性能差は少ないように見えるが、使った印象は大きく異なる。AACコーデックに対応した「E3」のサウンドは、音場全体の見通しがよいのが特長だ。ハイハットの鳴りは煌めきを感じさせる一方、バスドラムの低音はハイスピードに再生。気持ちのいいドンシャリサウンドだ。ANCの効果もバランスよくスッと雑音が消える印象。この消音効果は価格以上と感じた。「A1 Pro」はボーカルがクリアで癖が少ないというのは「E3」と共通するが、より量感のあるパワフルな低音が魅力。ANCの効果は控えめであるが、ツーンとなるハウリングなどは皆無。自然な消音に好感を覚えた。

新作は完全ワイヤレスだけではなく、ワイヤレスヘッドホンも登場する。「K2」と名付けられたモデルで、ハイブリッドANCの搭載、ANC OFF時で最大60時間もの再生時間を実現して9,900円の価格を実現した高コスト機だ。手に取るとイヤパッドが肉厚でふっくらと耳を包み込むので、側圧が強めと感じる方でも快適に使えるだ

Pick Up Items

2024年春に登場するSUDIOの新ラインアップ



COLOR >>> ● ○

強力ハイブリッドANCを搭載



COLOR >>> ● ● ● ●

シンプルな入門機



COLOR >>> ● ○

極上の装着性を纏う



COLOR >>> ● ○

上品な骨伝導

ノイズキャンセリング
Bluetoothヘッドホン

SUDIO
K2

¥9,900 (税込)
▶投票 No.014

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.3 ●対応コーデック:SBC ●連続再生時間:最大60時間(ANC OFF時/ON時は最大27時間) ●質量:約245g ●付属品:3.5mmヘッドホンケーブル、充電ケーブル

骨伝導ヘッドホン

SUDIO
B2

¥6,900 (税込)
▶投票 No.015

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.3 ●対応コーデック:SBC ●ドライバー口径:16.5mm ●連続再生時間:最大12時間 ●防水性能:IPX5 ●質量:約29g ●付属品:充電ケーブル

ろう。そして音を聴いてさらに驚いた。「E3」もかなりクリアでバランスがよいと感じたが「K2」も同様。SUDIOの一貫したサウンド哲学を実感した。特長なのは音場がグリーンで晴れ晴れとしており、楽器の自然な鳴りを見事に表現する点。音場全体が広がるぶんボーカルはやや後方になるが、声には湿度が伴い聴き心地がよい。なお、ANCのON/OFFはボタン操作で行い、楽曲操作はイヤークリップ部に内蔵するタッチセンサーで行うため、誤操作が少ないのもよい。

骨伝導ヘッドホンも前作「B1」から、IPX5へと防水性能を高め、再生時間も2倍の12時間へと進化させた「B2」が登場する。耳に引っ掛けるネックバンド式で充電はUSB Type-C。サウンドは骨伝導らしく中域重視で、音圧をかなり上げられるのがよい。外のロードノイズが多い環境でも音楽を楽しめる。静かな環境では、iPhoneのボリュームで半分を越えたところで音漏れを感じる程度だった。

いずれもSUDIOのデザイン哲学に基づいた上質なルックスを持ったアイテムばかりだ。ファッションアイテムとしても好適なイヤホンを選び新生活のお供として使ってほしい。

ノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン

SUDIO
E3

¥14,900 (税込) ▶投票 No.012

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.3 ●対応コーデック:SBC、AAC ●ドライバー口径:10mm ●連続再生時間:約4.5時間(ANC ON時/ケース込み最大30時間) ●質量:約5.4g(イヤホン片耳)、50.8g(ケース) ●付属品:イヤークリップ(XS/S/M/L/XL)、充電ケーブル

ノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン

SUDIO
A1 Pro

¥6,900 (税込) ▶投票 No.013

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.3 ●対応コーデック:SBC ●ドライバー口径:10mm ●連続再生時間:約3時間(ANC ON時/ケース込み最大30時間) ●質量:約3.5g(イヤホン片耳)、29.3g(ケース) ●付属品:イヤークリップ(XS/S/M/L)、充電ケーブル

LINEUP

ミニマルかつタフな
Bluetoothスピーカー

SUDIOはヘッドホン以外にBluetoothスピーカーもラインアップしている。スクエアデザインの「F2」と手のひらサイズの「S2」だ。まず上位モデルの「F2」は、全面にフルレンジドライバー、背面にサブウーファーを搭載した1.1ch構成。側面はラバーコーティング処理が施され、浸水させても問題ないIPX7の高い防水性能をもつので、お風呂で気軽に使うことができるし、たとえアウトドアで使ったとしてもまったく問題ない。さらにラバーストラップが付属するので、フックにかけて使うなど汎用性が高い一台だ。

一方で「S2」は手のひらに乗るコンパクトサイズが特長。側面にパッシブラジエーターを搭載。小型でもパンチの効いた低域再生ができるような設計だ。本機も防水性能は高くIPX5なので、水に沈めることはできないが、流水をかける程度ならOK。

音質傾向はいずれもクリアで爽快なボーカルが印象的。F2はよりパンチのある低域を再生する。一方、S2は小音量でも音のバランスが崩れにくく良好なサウンドだ。



COLOR >>> ● ○

Bluetoothスピーカー

SUDIO
F2

¥12,760 (税込) ▶投票 No.016



COLOR >>> ● ● ● ●

Bluetoothスピーカー

SUDIO
S2

¥5,940 (税込) ▶投票 No.017